

2018年

4月号

農林水産省
北海道農政事務所
北見地域拠点

ず～むあっぴ☆ オホーツク

春の訪れが待ち遠しい

『六次産業化を実現し、更なる農産加工品の開発・販売を目指す』取り組み！ （はまほろ 佐呂間町）

「農業生産法人(株)はまほろ」を紹介します。
主に、輪作体系を担う作物の小麦196ha
てんさい140ha ばれいしょ29ha大豆76.5ha
を作付けしながら、他に、そば、二条裸麦
を作付けしています。

そば(キタワセ68ha)は、平成20年の法人
の設立と同時に播種、収穫、乾燥、製粉、販
売の全ての作業を自社で行い採種圃場も
自社管理するこだわりを持っています。

まさに、「6次産業化」を行い、地元の人に
地元の味を食べてもらい、「佐呂間町でもそ
ばを作っていることを知って欲しい」との思
いから「そば店」の経営も行っています。

また、二条裸麦(キラリモチ4.7ha)は「医
食農連携」の取り組みとして、試験栽培を
経て、29年産から本格的に作付けを始め、
「もち麦・キラリモチ」として販売しています。

既存の品種と比べて、水溶性食物繊維が
約1.5倍含まれており「炊飯後の変色が少な
く、もちもちの食感が味わえる」と、リピ
ーターも多いとのこと。付加価値を付けた
「6次産業化」商品となっています。

今後は、更なる規模拡大や農産加工品の
開発・販売を行うことにより、雇用を創出
していきたいと話されていました。

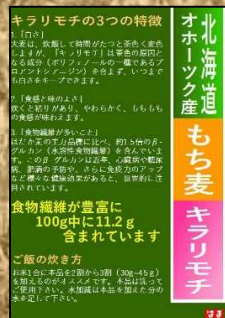
「キラリモチの収穫風景」



「乾そば」

「もち麦・キラリモチパッケージ」

「作業風景」



オホーツク産小麦の魅力をつたえる商品開発 ～北海道東藻琴高等学校と北海道美幌高等学校による意見交換会～

次世代を担う高校生が学校の枠を越えて連携し共同で商品開発を行うため、両校による意見交換会を開催しました。



【学校紹介の様子】



【グループ討議の様子】

オホーツク産小麦の魅力をつたえる商品開発を目指し、「外から見たオホーツクのイメージ」をテーマに商品開発のためのコンセプトを3グループに分かれ討議しました。

商品開発のためのグループ討議では、「オホーツクのイメージの流水や芝桜の色を野菜で表現したスイーツ」や「商品を広めるための方法(インターネットやSNSを利用、キャラクター作成)」など、たくさんの意見が出されました。

今回は高校生たちから出た意見を参考に、食品加工技術に関する研修を行う予定です。



【発表の様子】

オホーツク地域のGAPの取組みを支援しています



※構成する農業関係6団体

- ・北海道オホーツク総合振興局
- ・網走農業改良普及センター
- ・北海道農業協同組合中央会北見支所
- ・ホクレン農業協同組合連合会北見支所
- ・オホーツク農業協同組合連合会
- ・北海道農政事務所北見地域拠点

オホーツク地域におけるGAPの推進と、食の安全・安心による地域ブランドの向上を図るため、適時的確な情報共有、対策を講じることを目的として、昨年8月18日、農業関係6団体(※)で「オホーツク地域GAP導入推進会議」が設置されています。

これまで、「現地視察研修会」(11月)や「JGAP指導員認定資格取得研修会」(12月)を開催したほか、各種会議において講演等を行ってきました。

平成30年度も、普及啓発のための研修会の開催や指導員育成などについて取組んでいくこととしています。

【研修会の様子】



平成30年度予算概算決定及び平成29年農林水産関係補正予算の概要が公表されています。
下記のホームページをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/budget/index.html>

「補助金等の逆引き辞典」もご活用下さい。

逆引き事典



編集後記

3月21日北見は大フィーバーでした。そうです、カーリング娘の凱旋パレード。感動しました。寒い日でしたが愛くるしい笑顔は見るだけで心が暖まりました。銅メダル良かったね！ そだねー(い)

編集：農林水産省 北海道農政事務所 北見地域拠点
〒090-0018 北見市青葉町6-8 北見地方合同庁舎
TEL 0157-23-4171 FAX 0157-23-5358
北見地域拠点HP <http://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>